



# I コマンド

この章では、コマンド名が I で始まる Cisco NX-OS システム管理コマンドについて説明します。

## ip flow monitor

ルータが受信またはフォワーディングするトラフィックに対して Flexible NetFlow フロー モニタをイネーブルにするには、インターフェイス コンフィギュレーション モードで **ip flow monitor** コマンドを使用します。Flexible NetFlow フロー モニタをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
ip flow monitor monitor-name {input | output} [sampler sampler-name]
```

### シンタックスの説明

<i>monitor-name</i>	事前に設定したフロー モニタの名前
<i>input</i>	ルータがインターフェイス上で受信するトラフィックを監視します。
<i>output</i>	ルータがインターフェイス上から送信するトラフィックを監視します。
<i>sampler</i>	(任意) フロー モニタ用のフロー サンプラの名前を指定します。
<i>sampler-name</i>	設定したサンプラの名前を使用して、フロー モニタ用のフロー サンプラをイネーブルにします。

### コマンドのデフォルト設定

ディセーブル

### コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション

### サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
VDC 管理者

### コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

**ip flow monitor** コマンドを使用して特定のインターフェイスにフロー モニタを適用し、Flexible NetFlow によるトラフィック監視をイネーブルにするには、**flow monitor** コマンドを使用して事前にフロー モニタを作成しておく必要があります。

作成したフロー モニタ用のフロー サンプラを **ip flow monitor** コマンドでイネーブルにするには、**sampler** コマンドを使用して事前にサンプラを作成しておく必要があります。

このコマンドにライセンスは不要です。

### ip flow monitor sampler

フロー モニタにサンプラを追加すると、その名前付きサンプラによって選択されたパケットだけがキャッシュに格納されフローを形成します。サンプラを使用すると、その使用に対応する統計情報が毎回別々に格納されます。

特定のインターフェイスですでにイネーブルになっているフロー モニタにサンプラを追加することはできません。このようなフロー モニタをサンプラ付きでイネーブルにするには、まず、インターフェイスからそのフロー モニタを削除する必要があります。詳細は、「例」のセクションを参照してください。



(注)

想定される使用状況を得るには、各フローの統計情報をスケールする必要があります。たとえば、10個に対して1個をサンプリングするサンプラを使用した場合は、パケットカウンタとバイトカウンタを10倍する必要があります。

### 例

次に、入力トラフィックを監視するフロー モニタをイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# interface ethernet0/0
switch(config-if)# ip flow monitor FLOW-MONITOR-1 input
```

次に、出力トラフィックを監視するフロー モニタをイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# interface ethernet0/0
switch(config-if)# ip flow monitor FLOW-MONITOR-1 output
```

次に、入力および出力トラフィックを監視するために、同じインターフェイス上で同じフロー モニタをイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# interface ethernet0/0
switch(config-if)# ip flow monitor FLOW-MONITOR-1 input
switch(config-if)# ip flow monitor FLOW-MONITOR-1 output
```

次に、入力および出力トラフィックを監視するために、同じインターフェイス上で2つの異なるフロー モニタをイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# interface ethernet0/0
switch(config-if)# ip flow monitor FLOW-MONITOR-1 input
switch(config-if)# ip flow monitor FLOW-MONITOR-2 output
```

次に、入力および出力トラフィックを監視するために、2つの異なるインターフェイス上で同じフロー モニタをイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# interface ethernet0/0
switch(config-if)# ip flow monitor FLOW-MONITOR-1 input
switch(config)# interface ethernet1/0
switch(config-if)# ip flow monitor FLOW-MONITOR-1 output
```

次に、入力および出力トラフィックを監視するために、2つの異なるインターフェイス上で2つの異なるフロー モニタをイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# interface ethernet0/0
switch(config-if)# ip flow monitor FLOW-MONITOR-1 input
switch(config)# interface ethernet1/0
switch(config-if)# ip flow monitor FLOW-MONITOR-2 output
```

次に、サンプラでサンプリングされる入力パケット数を制限した状態で入力トラフィックを監視するようにフロー モニタをイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# interface ethernet0/0
switch(config-if)# ip flow monitor FLOW-MONITOR-1 input sampler SAMPLER-1
```

次に、サンプラによってサンプリングされる出力パケット数を制限した状態で、出力トラフィックを監視するためにフロー モニタをイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# interface ethernet0/0
switch(config-if)# ip flow monitor FLOW-MONITOR-1 output sampler SAMPLER-1
```

次に、入力トラフィックをモニタリングするフロー モニタのサンプラによってサンプリングされる入力パケットを制限した状態で、入力および出力トラフィックを監視するために2つの異なるフロー モニタをイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# interface ethernet0/0
switch(config-if)# ip flow monitor FLOW-MONITOR-1 input sampler SAMPLER-1
switch(config-if)# ip flow monitor FLOW-MONITOR-2 output
```

次に、出力トラフィックをモニタリングするフロー モニタのサンプラによってサンプリングされる出力パケットを制限した状態で、入力および出力トラフィックを監視するために2つの異なるフロー モニタをイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# interface ethernet0/0
switch(config-if)# ip flow monitor FLOW-MONITOR-2 input
switch(config-if)# ip flow monitor FLOW-MONITOR-2 output sampler SAMPLER-1
```

次の例では、サンプラなしで特定のインターフェイス上ですでにイネーブルにされているフロー モニタにサンプラを新しく追加しようとすると発生するエラーを示します。

```
switch(config)# interface Ethernet0/0
switch(config-if)# ip flow monitor FLOW-MONITOR-1 input sampler SAMPLER-1
% Flow Monitor: Flow Monitor 'FLOW-MONITOR-1' is already on in full mode and cannot be
enabled with a sampler.
```

次の例では、インターフェイスからフロー モニタを削除して、サンプラを使用して再イネーブルにできるようにしています。

```
switch(config)# interface Ethernet0/0
switch(config-if)# no ip flow monitor FLOW-MONITOR-1 input
switch(config-if)# ip flow monitor FLOW-MONITOR-1 input sampler SAMPLER-1
```

次の例では、**sampler sampler-name** キーワードと引数を指定せずに **flow monitor** コマンドを再度入力することによってインターフェイス上のフロー モニタからサンプラを削除しようとすると発生するエラーを示します。

```
switch(config)# interface Ethernet0/0
switch(config-if)# ip flow monitor FLOW-MONITOR-1 input
% Flow Monitor: Flow Monitor 'FLOW-MONITOR-1' is already on in sampled mode and cannot
be enabled in full mode.
```

次の例では、サンプラ付きでイネーブルにされたフロー モニタをインターフェイスから削除して、サンプラなしで再イネーブルできるようにしています。

```
switch(config)# interface Ethernet0/0
switch(config-if)# no ip flow monitor FLOW-MONITOR-1 input sampler SAMPLER-1
switch(config-if)# ip flow monitor FLOW-MONITOR-1 input
```

#### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>flow exporter</b>	フロー エクスポートを作成します。
<b>flow monitor</b>	フロー モニタを作成します。
<b>flow record</b>	フロー レコードを作成します。
<b>sampler</b>	フロー サンプラを作成します。